

## 6月も油断せず熱中症予防を

問すこやか生活課 ☎(598)5711 FAX(582)1138

梅雨の晴れ間、梅雨明け直後など、体がまだ高温多湿に順応できていないタイミングで急に気温が上がったり、蒸し暑くなったりすると、熱中症発生のリスクが高まります。

熱中症予防のためにできること(高齢者・子ども・障がいのある人は特に注意)

### ①暑さを避ける

- ・エアコンなどで温度をこまめに調節しよう
- ・外出時には日傘や帽子を着用しよう
- ・吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用しよう
- ・クールシェア施設を利用しよう

### ②こまめに水分補給を

### ③熱中症予防情報サイトを活用しよう

熱中症警戒アラート発表時には外出を控え、暑さを避けよう



熱中症予防情報サイト



クールシェア施設

## 新たな防災気象情報の運用開始

問危機管理課 ☎(582)1119 FAX(583)5066

気象庁で、新たな防災気象情報の運用を開始しました。

### ①警報・注意報の情報名に「レベル」を付記

避難判断の目安が分かりやすくなります。

変更例 (旧)大雨警報→(新)レベル3大雨警報

### ②「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表

避難行動と直結するレベルであることが分かりやすくなります。

変更例 (旧)土砂災害警戒情報→(新)レベル4土砂災害危険警報

### ③線状降水帯の発生など、極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表

変更例 (旧)顕著な大雨に関する気象情報→(新)気象防災速報(線状降水帯発生)

変更例 (旧)記録的短時間大雨情報→(新)気象防災速報(記録的短時間大雨)

詳しくは、右記☎をご覧ください。



気象庁  
ホームページ

## 緑のもりやまを創る会 約50年の役割を終え解散

## 「駅前緑地」から「もりやま芦刈園」へ、植物の移植で最後の活動

問・土木管理課 ☎・☎(582)1134 FAX(582)6947

・都市計画・交通政策課(改修工事について) ☎・☎(582)1132 FAX(582)6947

駅前緑地公園の手入れを中心に活動を続けてきた「緑のもりやまを創る会」(緑創会)が、一定の役割を果たしたとして、令和8年3月の「さくらまつり」を最後に解散することになりました。

渋滞緩和工事の一環で、丹精込めて手入れをしてきた駅前緑地公園も一部改修の予定となるため、新しい時代に即した「駅前公園」になることを期待するとともに、移植可能な植物を「もりやま芦刈園」に植え替え、最後の活動を行いました。移植の際には、森中市長をはじめ多くの関係者が参加し、50年を超える長年の活動を労いました。



最後の活動に集まった皆さん

### 緑創会 約50年の歩みを振り返る

#### 昭和48年から市民主体で緑化活動を継続

緑のもりやまを創る会は、美しい水と緑のあふれるのどかな田園都市もりやまを目指して、昭和48年に発足しました。

平成16年の駅前公園の完成を受けて、駅前部会「やまぼうし」が結成され、住民主体による緑地の手入れの活動を続けてきました。平成21年には、第26回 緑の都市賞「緑化機構会長賞」を受賞しています。

#### 目田川に市民オーナーの桜並木

平成20年に始まった、市立図書館横の目田川沿いに桜並木を創る計画では、数年をかけてオーナー制度によるソメイヨシノの植樹を実施しました。桜の季節にはオーナー家族をはじめ、多くの市民が桜並木に集い、「桜まつり」を開催してきました。



駅前緑地公園で最後の活動